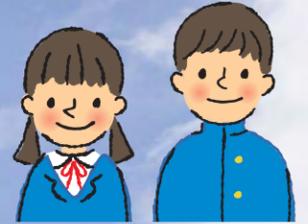


誰もが安心して過ごすことのできる

いじめ見逃し
ゼロに向けて

学校づくりを目指して



いじめは どの学校にも どの学級にも どの子どもにも 起こりうる

すべての教職員が、未然防止や早期発見、
組織的な対応に徹底して取り組む

教職員の姿勢

積極的・組織的に、
いじめを見付け
子どもと共に課題解決を図る

小さなサインも見逃さない
一人で抱えこまない
組織的に取り組む

いじめ解決への対応

方針を決め組織的に対応する

課題解決のために
・課題解決の方針を共通理解
・事実確認, 情報収集
・支援と指導
経過観察

信頼関係

子どもと
保護者と
地域と

いじめの早期発見

いじめは
観ようとしなければ見えない

日常の観察
こまめな記録の積み重ね
アンケート等の活用
教育相談体制の充実

いじめ未然防止

いじめを生まない
人間関係・学校風土づくり

わかる授業・できる授業
一人一人を大切にし、
生かす日常活動
保護者・地域との協力体制

いじめ見逃しゼロ



対応の例

いじめを認知したら、方針を決め、
組織的に対応

課題解決に向けた手順と方法を決定し、共通理解する

多方面からの情報収集・整理による
全体像の把握

課題解決のための支援と指導

新たな情報

外部機関との連携が
必要な場合

関係する保護者へ
事実と指導方針の具体策を知らせ、
再発防止への協力を得る

経過を観察し、必要に応じて再度対応する

保護者・地域に対して、
子どもの日常の様子を注意深く見守り、
早期に学校へ連絡するよう啓発する

いじめられた
子ども

・信頼できる教員が対応
・最後まで守るという姿勢
・心のケアに努める
・保護者に対して経過や
今後の方針をていねいに
説明する

安心安全
な生活

いじめた
子ども

・安易な謝罪で済ませない
・相手の心の痛みを理解させる
・今後の生活の仕方を
考えさせ、自己決定させる
・本人の不安定要因への
対処をする
・家庭環境への支援を
継続する(必要に応じて
関係機関と連携する)

課題の
解決

周囲・全校の
子ども

・いじめの傍観者にならない
・一歩踏み出す勇気をもつ

共に
問題を
解決する

外部機関

警察・児童相談所・区の福祉担当など

自殺をほのめかしている場合は…

《TALKの原則》

Tell	心配していることを伝える
Ask	自殺願望について尋ねる
Listen	気持ちを傾聴する
Keep safe	安全の確保

治療の原則

① 3つの柱で
② チームで対応
③ 長期のケア

絆の回復

薬物療法 心理療法

〈出典：「教師が知っておきたい
子どもの自殺予防」
(平成21年3月 文部科学省)
・筑波大学 高橋祥友教授講演資料〉